

「仁和寺にある法師」目標および評価規準

目 標	<ul style="list-style-type: none"> 「仁和寺にある法師」を音読し、文語体の表現に慣れる。 法師の失敗の原因を読み取り、それを根拠に自分の経験と重ねて兼好法師の主張に対する意見文を書くことができる。 		
評 価	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
規 準	古文独特の言葉遣いやリズムを感じながら、進んで音読しようとしている。	現代語訳を参考に内容を理解するとともに、登場人物の行動や気持ちを踏まえて作者の主張を理解し、それに対して立場を明確にして自分の意見をもつことができる。	歴史的仮名遣いや言葉遣いに注意して音読することができる。

指導と評価の計画（「仁和寺にある法師」3時間扱い）

過程	ねらい ○主な学習活動	時間	学習への支援	評価規準		
				国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
導 入	<ul style="list-style-type: none"> 徒然草についておおよその内容を把握できるようにする。 本時のねらいを確認する。 「導入シート」で徒然草についてのおおよその内容を理解する。 徒然草の序段を音読し、古典のリズムに慣れる。 「仁和寺にある法師」の現代語訳を読み、話の内容を理解する。 現代語訳を参考に三つの発問について話し合う。 	1	<ul style="list-style-type: none"> 「徒然草」について時代、筆者、随筆文等、おおよその内容について知らせる。 発声、リズム等を意識させながら、全員で斉読させる。 意味を理解しやすいようにゆっくりと、昔話を読むように範読する。 一つの発問にあまり時間をかけずに進む。 	<ul style="list-style-type: none"> 徒然草の内容を把握しようとしている。 最後の一文を意欲的に考えようとしている。 自分の感想を自由に発表させる。 		
見 通 し 1 読 み 取 り	<ul style="list-style-type: none"> 「仁和寺にある法師」の発問に対する読み取りが正確にできるようにする。 内容を思い浮かべながら範読テープを聞き、読み方を確認する。 「読み取りシート」の発問を確認する。 全員で全文を音読する。 原文から答えとなる部分を書き抜く。 全員で答えを確認する。 「評価シート」に記入する。 	1	<ul style="list-style-type: none"> 現代語訳の内容とどの古語が対応するか、イメージしながら黙読させる。 現代語訳の内容からおおよその答えを推測させる。 答えの部分ごとに書かれているか、気を付けながら読ませる。 現代語訳と対応させながら読み取らせる。 余計な部分は書かず、該当する部分のみ正確に書き抜くようにさせる。 「評価シート」の【初めの学習について】【読み取りについて】の評価欄に自己評価で記入させる。 		<ul style="list-style-type: none"> 原文をリズムよく音読でき、発問に対する解答をシートに書くことができる。 ☆時間内に読み取った内容をすべてシートに書くことができる。 ◆現代語訳を手掛かりにして考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発問に対して読み取った内容を、現代語訳を手掛かりに文語で理解できる。 ☆原文だけを読み、発問の内容を理解できる。 ◆現代語訳に対応させながら一つずつ理解させる。
見 通 し 2 読 解	<ul style="list-style-type: none"> 仁和寺の法師が失敗した理由を考えられるようにする。 全文音読して、前時の学習を振り返る。 本時のねらいを確認する。 「読解シート」の自分1の欄に自分の考えを書く。 自分1の考えをペアで発表し合い、いろいろな失敗の理由を考える。 「読解シート」の自分2の欄に、友達の意見を踏まえた自分の理由と考えを書き込む。 数名が発表する。 「評価シート」に記入する。 	1	<ul style="list-style-type: none"> 序文、本文を発声、リズムに気をつけながら音読させる。 前時の「読み取りシート」の内容を手掛かりにしなが、いろいろな理由を考えさせる。 二人一組で、お互いに発表していくが、発表するときに必ず本文のどこを根拠に考えたかを言うようにさせる。 話し合いのとき、シートの交流の欄に必要な言葉をメモしながら聞くようにさせる。 共感できる友達の考えを、自分の考えに付け足して書いてよいことを伝える。 机間支援しながら、記述状況を把握し、よく書けている生徒に発表させる。 「評価シート」の【読解について】の評価欄に自己評価で記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発問を理解し、読み取りの答えをもとに考えをまとめようとしている。 ☆自ら根拠を見つけて考えをまとめようとしている。 ◆現代語訳をもとに失敗の原因を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 失敗の内容を確認し、その原因を現代語訳から考えられる。 ☆失敗の原因を複数探することができる。 ◆法師が失敗しないためにはどうすればよかったのか考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 古語と現代語を対応させながら、原因を考えることができる。 ☆「ただ一人徒歩より」「かばかりと心得て」「ゆかりかりしかど山までは見ず」などの言葉に着目できる。 ◆現代語訳を手掛かりに考えをまとめさせる。
見 通 し 3 表 現	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を確認し、失敗の原因と重ね合わせながら、自分の意見をまとめられるようにする。 全文音読し、前時の学習を振り返る。 本時のねらいを確認する。 「表現シート」の自分1の欄に自分の意見を書く。 仁和寺の法師の話をもとに自分の体験を振り返り、ペアで意見交流する。 「表現シート」の自分2の欄に、話し合ったことを生かして自分の意見文を書く。 賛成派と反対派から数名ずつ発表する。 	1	<ul style="list-style-type: none"> いくつかの失敗を確認した後、筆者の主張（解決策）を確認させる。 賛成か反対か、二者択一であることを伝え、本文の内容をもとに理由を明確にして簡潔に書くようにさせる。 相手の意見とその根拠をよく聞き、お互いにアドバイスし合い、交流の欄にメモさせる。 交流のアドバイスを参考にしながら、自分の意見を「表現シート」の文章構成に沿って書かせる。 机間支援しながら、完成した作品の中で賛成・反対のそれぞれよい意見文を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発問を理解し、自分の体験を振り返り意見をまとめようとしている。 ☆法師の失敗の原因と自分の体験を重ね合わせながら書こうとしている。 ◆賛成・反対の立場を決め、理由を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張と法師の失敗の原因から自分の体験を想起し、立場と理由を簡単にまとめられる。 ☆立場、体験、意見、根拠が明確に書ける。 ◆立場を決めた理由を本文から探させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「表現シート」の枠組みをもとに構成を意識した意見文を書くことができる。 ☆意見文の構成を理解することができるので、相手を説得するような効果的な体験を書くことができる。 ◆法師の失敗を理解させ、似たような体験を文章で書かせる。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> 読みから書きへの学習活動のねらいに沿って評価できるようにする。 「評価シート」に記入する。 		<ul style="list-style-type: none"> 「評価シート」の【表現について】の評価欄に自己評価で記入させる。 「仁和寺にある法師」の学習全体を振り返り、【学習についてのコメント】の欄に自由記述で感想を書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各段階および今までの自分の取組を振り返り、自分の成長を受け入れ、次の学習に取り組もうとしている。 ☆学習全体を振り返り、相手から学んだことも含めて課題をもち、次の学習に意欲的に取り組もうとしている。 ◆書き方の練習を繰り返すことによって必ず書けるようになる声かけをし、次の学習への意欲をもたせる。 		

◇は、おおむね満足できる状況・態度

☆は、十分満足できる状況・態度

◆は、努力を要する状況への方策

【本時案】「仁和寺にある法師」（3時間扱い）

第1時（見通し1にかかわる授業）

(1) ねらい

- ・徒然草についておおよその内容を把握できるようにする。
- ・「仁和寺にある法師」の発問に対する読み取りが正確にできるようにする。

(2) 準備

教科書、「徒然草」学習シート、石清水八幡宮の拡大絵地図、指名カード

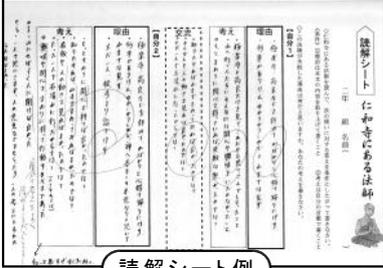
(3) 展開（3時間中の1時間目）

	学習活動	時間	学習への支援 (○) 及び留意点 (※) 十分満足とする状況・態度の生徒への支援 (◇)	評価規準 (評価方法)
	1 本時のねらいを確認する。			
	徒然草について知り、「仁和寺にある法師」の内容を正確に読み取ろう。			
導 入	2 「導入シート」で徒然草についてのおおよその内容を理解する。	17	○「徒然草」について時代、筆者、随筆文等、おおよその内容について知らせる。	【関・意・態】 徒然草の内容を把握しようとしている。 (観察：生徒の取組の様子)
	3 徒然草の序段を音読し、古典のリズムに慣れる。		○発声、リズム等を意識させながら、全員で斉読させる。 ※有名な序文なので、できれば暗唱させたい。	
	4 「仁和寺にある法師」の現代語訳を読み、話の内容を理解する。		○意味を理解しやすいようにゆっくりと、昔話を読むように範読する。	
	5 現代語訳から三つの発問について話し合う。		○一つの発問にあまり時間をかけずに進む。 ※石清水八幡宮と極楽寺・高良神社の位置関係を確認するため拡大絵地図を黒板に貼る。 ※筆者の「ほしいもの」が分からなければ、「読み取りシート」で確認する。	
読 み 取 り	6 内容を思い浮かべながら範読テープを聞き、読み方を確認する。	30	○現代語訳の内容とどの古語が対応するか、イメージしながら黙読させる。 ※歴史的仮名遣いの読み方に着目させる。	【読む】 原文をリズムよく音読でき、発問に対する解答をシートに書くことができる。 【言語事項】 発問に対して読み取った内容を、現代語訳を手掛かりに文語で理解できる。 (観察：音読の様子、「読み取りシート」への書き込みの様子) (分析：「読み取りシート」の正答率、記述内容)
	7 「読み取りシート」の発問を確認する。		○現代語訳の内容からおおよその答えを推測させる。	
	8 全員で全文を音読する。		○答えの部分がどこに書かれているか、気を付けながら読ませる。	
	9 原文から答えとなる部分を書き抜く。		○現代語訳と対応させながら読み取らせる。 ※答えは原文で答えることを確認する。 ○余計な部分は書かず、該当する部分のみ正確に書き抜くようにさせる。 ◇早くできた生徒は、読み取りの遅い生徒を補助させる。 ※10問中何問できたか確認する。7問以上正解で合格とする。 ※指名カードを用い、ランダムに指名して答えさせる。	
	 <p style="text-align: center;">読み取りシート例</p>			
	10 全員で答えを確認する。			
評 価	11 「評価シート」に記入する。	3	○「評価シート」の【初めの学習について】 【読み取りについて】の評価欄に自己評価で記入させる。	【関・意・態】 本時の学習を振り返り、評価しようとしている。 (分析：「評価シート」の自己評価の様子、記述内容)

【本時案】「仁和寺にある法師」（3時間扱い）

第2時（見通し2にかかわる授業）

- (1) ねらい
仁和寺にある法師が失敗した理由を考えられるようにする。
- (2) 準備
教科書、「徒然草」学習シート
- (3) 展開（3時間中の2時間目）

	学習活動	時間	学習への支援（○）及び留意点（※） 十分満足とする状況・態度の生徒への支援（◇）	評価規準 (評価方法)
導 入	1 全文音読して、前時の学習を振り返る。	10	○序文、本文を発声、リズムに気をつけながら音読させる。 ※石清水八幡宮の拡大絵地図を見ながら内容を確認する。	
	2 本時のねらいを確認する。			
どうして仁和寺の法師は失敗したのでしょうか？				
読 解 ・ 自 分 1	3 「読解シート」の自分1の欄に自分の考えを書く。 	10	○前時の「読み取りシート」の内容を手掛かりにしなが、いろいろな理由を考えさせる。 ※必ず本文の内容を根拠にして、理由を考えてまとめさせる。 ◇できる生徒ほど、「先達はあらまほしきことなり」から、「ただ一人」を理由にしやすいが、「年寄る」「徒歩より」「何かありけん、ゆかしかりしかど」などいろいろな理由を考えさせるよう助言する。	【関・意・態】 発問を理解し、読み取りの答えをもとに自分の考えをまとめようとしている。 【読む】 失敗の内容を確認し、その原因を現代語訳から考えられる。 【言語事項】 古語と現代語訳を対応させながら、原因を考えることができる。 (観察：「読解シート」への書き込みの様子) (分析：「読解シート」の自分1の記述内容)
交 流	4 自分1の考えをペアで発表し合い、いろいろな失敗の理由を考える。 	10	○二人一組で、お互いに発表していくが、発表するとき必ず本文のどこを根拠に考えたかを言うようにさせる。 ※二分間で話し合いをし、相手を替えていく。時間内で可能な回数を行う。 ○話し合いのとき、シートの交流の欄に必要な言葉をメモしながら聞くようにさせる。 ※全部の言葉を書き込むこもろとしがちであるが、自分に必要なこと、自分と違う重要な視点の言葉のみメモさせる習慣を付けさせる。	
読 解 ・ 自 分 2	5 「読解シート」の自分2の欄に、友達の意見を踏まえた自分の理由と考えを書き込む。 6 数名が発表する。	17	○共感できる友達の考えを、自分の考えに付け足して書いてよいことを伝える。 ※できるだけ多面的に考えられるほうがよいことを伝える。特に理由の部分と考えの関連を意識させる。 ◇一面的な見方ではなく、他の理由も考えるよう助言する。 ○机間支援しながら、記述状況を把握し、よく書けている生徒に発表させる。	
評 価	7 「評価シート」に記入する。	3	○「評価シート」の【読解について】の評価欄に自己評価で記入させる。	【関・意・態】 本時の学習を振り返り、評価しようとしている。 (分析：「評価シート」の自己評価の様子、記述内容)

【本時案】「仁和寺にある法師」（3時間扱い）

第3時（見通し3にかかわる授業）

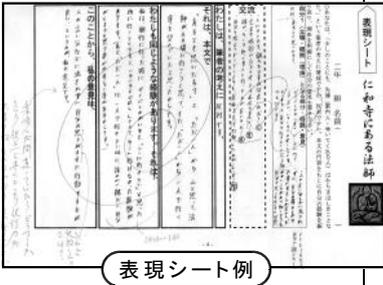
(1) ねらい

- ・筆者の主張を確認し、失敗の原因と重ね合わせながら、自分の意見をまとめられるようにする。
- ・読みから書きへの学習活動のねらいに沿って評価できるようにする。

(2) 準備

教科書、「徒然草」学習シート

(3) 展開（3時間中の3時間目）

	学習活動	時間	学習への支援（○）及び留意点（※） 十分満足とする状況・態度の生徒への支援（◇）	評価規準 （評価方法）
導 入	1 全文音読し、前時の学習を振り返る。	5	○いくつかの失敗を確認した後、筆者の主張（解決策）を確認させる。	
	2 本時のねらいを確認する。			
あなたは、筆者の「少しのことに先達はあらほしきことなり」という主張に賛成ですか？				
表 現 ・ 自 分 1	3 「表現シート」の自分1の欄に自分の意見を書く。	10	○賛成か反対か、二者択一であることを伝え、本文の内容をもとに理由を明確にして簡潔に書くようにさせる。 ※批判的な読みができていない段階なので、どうしても「賛成」が多くなると予想される。「ちょっとしたことでも案内人は必要か？他力本願なのでは？」という揺さぶりの発問をかけるようにする。 ※最初の段階で賛成と反対の人数を挙手により把握する。 ※欄が小さいので、立場、理由、体験の三つで短くまとめさせる。	【関・意・態】 発問を理解し、自分の体験を振り返り意見をまとめようとしている。 【読む】 筆者の主張と法師の失敗の原因から自分の体験を想起し、立場と理由を簡単にまとめられる。 【言語事項】 「表現シート」の枠組みをもとに構成を意識した意見文を書くことができる。 （観察：「表現シート」への書き込みの様子） （分析：「表現シート」の自分1の記述内容）
				
交 流	4 仁和寺の法師の話をもとに自分の体験を振り返り、ペアで意見交流する。	10	○相手の意見とその根拠をよく聞き、お互いにアドバイスし合い、交流の欄にメモさせる。 ※特に自分の体験が思いつかない生徒は、友達の体験をヒントに思い出すようにさせる。	
表 現 ・ 自 分 2	5 「表現シート」の自分2の欄に、話し合ったことを生かして自分の意見文を書く。	20	○交流のアドバイスを参考にしながら、自分の意見を「表現シート」の文章構成に沿って書かせる。 ※欄の初めに書かれている文に続くような形で書かせる。 ※最後の欄の意見は、賛成・反対の立場を自分の言葉で言い換えるようにさせる。 ○机間支援しながら、完成した作品の中で賛成・反対のそれぞれよい意見文を発表させる。 ◇早く書けた生徒には、なるべく自主的に発表するように促す。	
	6 賛成派と反対派から数名ずつ発表する。			
評 価	7 「評価シート」に記入する。	5	○「評価シート」の【表現について】の評価欄に自己評価で記入させる。 ○「仁和寺にある法師」の学習全体を振り返り、【学習についてのコメント】の欄に自由記述で感想を書かせる。	【関・意・態】 今までの学習を振り返り、自分の成長を受け入れ、次の学習に取り組もうとしている。 （分析：「評価シート」の自己評価の様子、記述内容）